

日本加速器学会会員の皆様

第 17 回年会の第 1 回サーキュラーをお送りします。  
ご確認と周囲の皆様へ周知を、なにとぞよろしくお願い致します。

第 17 回日本加速器学会年会  
第 1 回サーキュラー

第 17 回日本加速器学会年会  
組織委員長 中村 剛  
実行委員長 増田 剛正

主旨：本年会は、加速器とその応用分野の研究者・技術者が一堂に会して研究・技術の成果発表および情報交換を行い、個々の研究者はもとより研究機関相互の交流および密接な連携を促進する場を提供するものです。2004 年の日本加速器学会発足以来、毎夏定期的に開催され、今回で 17 回目を迎えます。優れた学術的成果の発表のみならず、加速器施設の現場で働く技術者の貴重な経験を共有することで、加速器関連技術の継承と発展を目指します。加速器の応用分野の多様化に加え、専門技術の高度化と細分化が顕著な昨今、本年会の果たす役割がますます重要になってきていることは自明であり、加速器に関わる多くの研究者・技術者の参加を呼びかけるものです。

第 1 回サーキュラー

概要

会期：2020 年 8 月 4 日(火)－8 月 6 日(木) 8 月 4 日(火)に特別講演(一般公開)、  
8 月 7 日(金)に見学会

会場：愛媛県松山市 愛媛県県民文化会館

参加資格：制限はございません。

発表資格：正会員、名誉会員、学生非会員、賛助会員所属の非会員(条件有)

※発表資格について詳細は、「発表資格」の項目をご参照ください。

主な期限：

発表申込期限 5 月 11 日(月) 24 時 (発表申込開始 3 月 30 日(月))

事前参加登録期限 7 月 13 日(月) 17 時

発表申込・参加登録の詳細は、第 2 回サーキュラー(3 月下旬ごろ配信予定)に記載いたします。

— 開催要項 —

主催： 日本加速器学会

後援： 愛媛県、松山市（予定）

会期： 2020年8月4日(火)–8月6日(木)

8月4日(火)に特別講演（一般公開）、8月7日(金)に見学会を実施

会場： 愛媛県県民文化会館

〒790-0843 松山市道後町2丁目5番1号

JR松山駅から路面電車20分強（松山空港よりJR松山駅まではリムジンバスで15分）

URL：[http://www.ecf.or.jp/e\\_kenbun/](http://www.ecf.or.jp/e_kenbun/)

開催日までの主な予定:

発表申込期限 : 5月11日(月)24時(発表申込開始 3月30日(月))

事前参加登録期限 : 7月13日(月)17時

発表スライド事前アップロード期限 : 8月2日(日)24時

プロシーディングス提出期限 : 8月3日(月)24時

**※提出期限に間に合わないプロシーディングスは受け付けません。御了承下さい。**

プログラム：研究発表（口頭、ポスター）、特別講演、企業展示、企画セッション（本年のテーマ「加速器施設の廃止措置」、「パワー半導体」）を学会の行事として開催します。**ポスター発表は3日間行う予定です。**

注) 従来より加速器学会では、技術職の方の年会出席を容易にする為に技術研修会を企画実施してきました。しかしながら最近の学会員に対するアンケート結果や研修会への参加状況を見ると、研修会が技術職の方の学会出席に必須の条件でなく、研修会への多くの研究職の方の参加実績があります。このような状況と、昨年より実施された企画セッションを本年も実施するという方針に伴い、今後の年会に於いては、技術に限定されないより広く発展した研修や他分野と連携した研究テーマの発表を行う企画セッションを開催することになりました。

特別講演：

日時 8月4日(火) 18:30-20:00(予定)

会場 愛媛県県民文化会館 メインホール

講演 「地球のなかに、潜っていくと・・・」～放射光と超高圧実験で探る地球の内部～(仮題)

講師 入船徹男(愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター センター長・教授)

懇親会：

日時 8月5日(水)

会場 大和屋本店 大和の間

URL <https://www.yamatoyahonten.com/guide/access.html>

施設見学会：

日時 8月7日(金) 9:00 集合予定

(1) 松山市内コース

- ・愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (松山市文京町 2-5)  
地球深部研究のための超高压発生装置等の見学、愛媛大学ミュージアム見学
- ・三浦工業 (松山市堀江町 7 番地)  
新ショールーム見学 (ボイラ実証システム、軟水体験など)
- ・井関農機 (松山市馬木町 700 番地)  
工場見学 (トラクタ製造ライン、ギャラリー見学など)

(2) 新居浜コース (人数制限 100 名程度) (復路は JR 新居浜駅/松山空港/JR 松山駅へ立ち寄る予定です)

- ・住友重機械工業 (新居浜市惣開町 5 番 2 号)  
クリーンショップ (治療機種、診断機種)、プレス工場 (プレス機器など)

事前参加登録期間： 3月30日(月) 11:00 - 7月13日(月) 17:00

スムーズな学会運営のため事前登録・事前支払いへのご協力お願い致します。

参加費支払い： 専用の Web ページにてお支払い頂きます。クレジットカード払い、コンビニエンスストア払い、ペイジーでの振り込みをお選びいただけます。事前支払い期限は事前登録期限と同様、7月13日(月)です。

参加費：

	事前支払／当日支払
会員 (一般)	7,000 円／ 8,000 円
会員 (学生)	2,000 円／ 2,500 円
非会員 (一般)	9,000 円／ 10,000 円
非会員 (学生)	4,000 円／ 4,500 円

発表対象： 加速器科学、加速器技術、ならびに加速器の応用に関すること

発表申込： 3月30日(月) 11:00 - 5月11日(月) 24:00

発表申込時にアブストラクトを提出していただきます。

申込期限厳守でお願い致します。

発表資格：原則として正会員でも名誉会員でもない(以下、非会員と略記)年会参加者の発表は認めません。ただし、以下についてはその限りではありません。

○ 学生非会員の発表は認めます。

- 賛助会員の場合は、以下のように会費口数に応じて、または発表費を支払うことにより、非会員の発表を認めます。
- ・5口までは1人、5口を超える分1口につき1人の非会員発表を認めます。
  - ・上記会費口数により許される人数以上の非会員発表は、賛助会員または発表者が1人当たり1万円の発表費を支払うことにより、これを認めます。

入会方法： 非会員で発表申込みをされる方は、先にご入会をお願いします。会員になって頂くには、学会ホームページ(<https://www.pasj.jp/nyuukai.html>) よりオンラインでお申し込みいただくか、または入会申込書をダウンロード頂き、ご記入後に本サーキュラーの末尾にあります学会事務局宛てにEメールでお送りください。その後、会費の振込書類をお送りさせていただきますので入金をお願い致します。**なお、ご入会に際しては1週間程度の審査期間がございますので、余裕を持ってお申し込みください。**

プロシーディングスと発表スライド提出： 事前に年会のWeb ページ経由でのみ受け付けます。プロシーディングスの提出期限は、年会開始前日の**8月3日(月)24時**です。**期限後に提出頂いたプロシーディングスは受け付けません。**発表スライドファイルの事前アップロード期限は**8月2日(日)24時**です。提出期限厳守でお願い致します。アップロードできるファイル容量は20MB以下です。

プログラムのカテゴリー： 次のカテゴリーを予定しています。発表申込時に、第1希望、第2希望を、ご選択いただくこととなります。

「電子加速器」、「ハドロン加速器」、「光源加速器」、「ビームダイナミクス・加速器理論」、「加速器技術（粒子源）、（加速構造）、（高周波源・LLRF）、（電磁石と電源）、（ビーム診断・ビーム制御）、（加速器制御）、（レーザー）、（真空）」、「加速器応用・産業利用」、「加速器土木・放射線防護」、「萌芽的加速器技術の提案」

注）「萌芽的加速器技術の提案」では自由な発想からのイノベーションを目的として、加速器のハード、ソフト、関連する幅広い研究対象について斬新的・新奇的な研究発表を募集いたします。ポスター及びショートプレゼンテーションで発表頂きます。自由な発想の提案奨励のため、他の発表に比べ研究が未完でも許容します。経験、年齢、所属を問わず奮ってご応募下さい。

研究発表の形式： 発表形式には、一般口頭発表、一般ポスター発表、施設技術報告ポスターの3種類があります。（発表申込方法、発表形式の詳細は、第2回サーキュラーでご案内します）。

日本加速器学会年会賞：

研究活動・研究者生活の初期段階にある、学生および若手研究者を奨励することを目的として、第 17 回日本加速器学会年会賞(口頭発表部門、ポスター部門)を設けます。以前に受賞された方は、口頭・ポスターの別にかかわらず受賞対象外です。**受賞者は申込み段階で加速器学会会員または学生会員であること(発表当日までに入会手続きを完了していること)を条件**に致します。研究初期段階および若手を支援するという趣旨のために事務局から年齢やキャリアをお尋ねすることがあります。審査希望者は発表申込時にエントリーしてください。また、審査の対象となるのは発表内容ですが、期限までのプロシーディングスの提出を審査の条件といたします。なお、受賞者の発表と表彰が行われる閉会式には原則として出席してください。多くの応募をお願いします。

論文形式:

☆アブストラクト： 年会の Web ページにて、タイトル・著者・所属と発表内容の概要を事前に提出していただき、プログラムの構成に利用させていただきます。アブストラクトは提出締め切り後、準備が出来次第 Web 上でも公開いたします。

☆プロシーディングス： 1つの発表につき 2-5 ページとします。和文・英文どちらでも可です。論文のフォーマットは、和文の場合は年会 Web ページ\*1 から、英文の場合は JACoW 形式とし JACoW の Web ページ\*2 から、最新のテンプレートをダウンロードしてお使いください。作成に当たってはテンプレートからの逸脱が無いようご注意願います。

\*1 <https://www.pasj.jp/templates.html>

\*2 <https://www.jacow.org/index.php?n=Authors.HomePage>

宿泊予約：宿泊施設の予約は各自でのご手配をお願いいたします。早めの予約をお勧めします。

託児所：会場施設内に託児所を開設する予定です。実行委員会で事前準備の必要がありますので、ご利用を予定されている場合は、事前参加登録期限内にお申込みください。詳細は年会 Web ページをご覧ください。

連絡先： 日本加速器学会年会ヘルプデスク

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

Email : [pasj-desk@bunken.co.jp](mailto:pasj-desk@bunken.co.jp)

FAX : 03-5227-8632

**\* 広報・ウェブ委員募集中！ \***

加速器学会では広報や学会のホームページ制作・更新に携わる仲間を募集しています。  
CGI がわかる方歓迎。やりがいのある仕事です。

委員一覧

組織委員会

委員長 中村 剛 高輝度光科学研究センター

池田 伸夫	九州大学 大学院 工学研究院
石井 慶造	東北大学 工学研究科
上坂 充	東京大学 工学系研究科
加藤 政博	分子科学研究所／広島大学 放射光科学研究センター
金澤 光隆	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
上垣外 修一	理化学研究所 加速器基盤研究部
神谷 幸秀	加速器奨励会
倉島 俊	量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所
江 偉華	長岡技術科学大学
江田 茂	九州シンクロトロン光研究センター
小関 忠	高エネルギー加速器研究機構 J-PARC センター
笹 公和	筑波大学
菅野 東明	三菱重工機械システム株式会社
鈴木 良一	産業技術総合研究所
想田 光	山形大学医学部東日本重粒子センター
高嶋 圭史	あいち SR／名大 SR センター
竹下 英里	神奈川県立がんセンター
田中 俊成	日本大学 量子科学研究所
田中 博文	三菱電機(株)
中山 光一	東芝エネルギーシステムズ(株)
野田 耕司	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
橋本 智	兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所／ニュースバル放射光施設
長谷川 和男	日本原子力研究開発機構 J-PARC センター
羽鳥 聡	若狭湾エネルギー研究センター
浜 広幸	東北大学 電子光理学研究センター
林崎 規託	東京工業大学 原子炉工学研究所
福田 光宏	大阪大学 核物理研究センター
古坂 道弘	北海道大学/産業技術総合研究所
堀越 篤	(株)日立製作所
正木 満博	高輝度光科学研究センター
森 義治	京都大学 原子炉実験所
山口 誠哉	高エネルギー加速器研究機構
山本 安一	立命館大学 SR センター
吉田 陽一	大阪大学 産業科学研究所

若杉 昌徳 京都大学化学研究所  
鷲尾 方一 早稲田大学 理工学研究所

## プログラム委員会

委員長 大竹 雄次 高輝度光科学研究センター

安積 隆夫 高輝度光科学研究センター  
五十嵐 進 高エネルギー加速器研究機構  
池田 仁美 高エネルギー加速器研究機構  
稲垣 隆宏 理化学研究所  
今尾 浩士 理化学研究所  
奥野 広樹 理化学研究所  
金澤 光隆 量子科学技術研究開発機構  
川瀬 啓悟 量子科学技術研究開発機構  
紀井 俊輝 京都大学  
近藤 恭弘 日本原子力研究開発機構  
柴田 恭 高エネルギー加速器研究機構  
下崎 義人 高エネルギー加速器研究機構/QST 六ヶ所  
杉本 崇 高輝度光科学研究センター  
諏訪田 剛 高エネルギー加速器研究機構  
高嶋 圭史 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター  
谷垣 実 京都大学 原子炉実験所  
田村 和宏 高輝度光科学研究センター  
渡川 和晃 理化学研究所  
高柳 智弘 日本原子力研究開発機構  
中村 達郎 高エネルギー加速器研究機構  
西内 満美子 量子科学技術研究開発機構  
林 直樹 日本原子力研究開発機構  
原 徹 理化学研究所  
原田 健太郎 高エネルギー加速器研究機構  
肥後 壽泰 高エネルギー加速器研究機構  
平井 敦彦 株式会社住友重機械工業  
三浦 永祐 産業技術総合研究所  
三浦 孝子 高エネルギー加速器研究機構  
三島 研二 株式会社パスコ  
宮本 明啓 三菱重工機械システム株式会社  
山本 康史 高エネルギー加速器研究機構  
山本 昌志 株式会社アキュセラ

百合 庸介 量子科学技術研究開発機構  
依田 哲彦 大阪大学 核物理研究センター

## 実行委員会

委員長 増田 剛正 高輝度光科学研究センター

田中 俊成 日本大学 量子科学研究所  
野田 悦夫 量子科学技術研究開発機構  
池沢 英二 理化学研究所

## 行事委員会

西森 信行 行事幹事/量子科学技術研究開発機構  
宮本 篤 広報幹事/東芝  
菊澤 信宏 予稿集・論文集担当/J-PARC  
仲井 浩孝 会場・企業展示担当/KEK  
黒田 隆之助 プログラム担当/産業技術総合研究所  
坂上 和之 プログラム担当/東京大学  
紀井 俊輝 年会ウェブ担当/京都大学  
佐藤 政則 年会ウェブ担当/KEK  
中村 剛 組織委員長/高輝度光科学研究センター  
大竹 雄次 プログラム委員長/高輝度光科学研究センター  
増田 剛正 実行委員長/高輝度光科学研究センター  
大垣 英明 前組織委員長/京都大学  
神門 正城 前プログラム委員長/量子科学技術研究開発機構  
岩下 芳久 前実行委員長/京都大学 化学研究所  
斎藤 勇一 次組織委員長/量子科学技術研究開発機構 (高崎)  
神谷 富裕 次プログラム委員長/群馬大学 理工学部  
倉島 俊 次実行委員長/量子科学技術研究開発機構 (高崎)